

第3章 安曇野市内の地域の宝物



交尾するミヤマシジミに近づくウラナミシジミ

3.1 指定等文化財

(1) 文化財の指定・登録等の状況

①種別内訳

令和7年8月末日の段階で当市内で指定等されている文化財を種別にまとめ、下表に示しました。市内には、国指定文化財7件、国登録文化財45件、国選択文化財1件※、県指定文化財22件、市指定文化財158件の指定等文化財があり、合計で232件となります。

なお、無形文化財、文化的景観、伝統的建造物群、文化財の保存技術の指定・選定はありません。

表3.1 指定等文化財の件数（指定等区分別集計）

単位：件

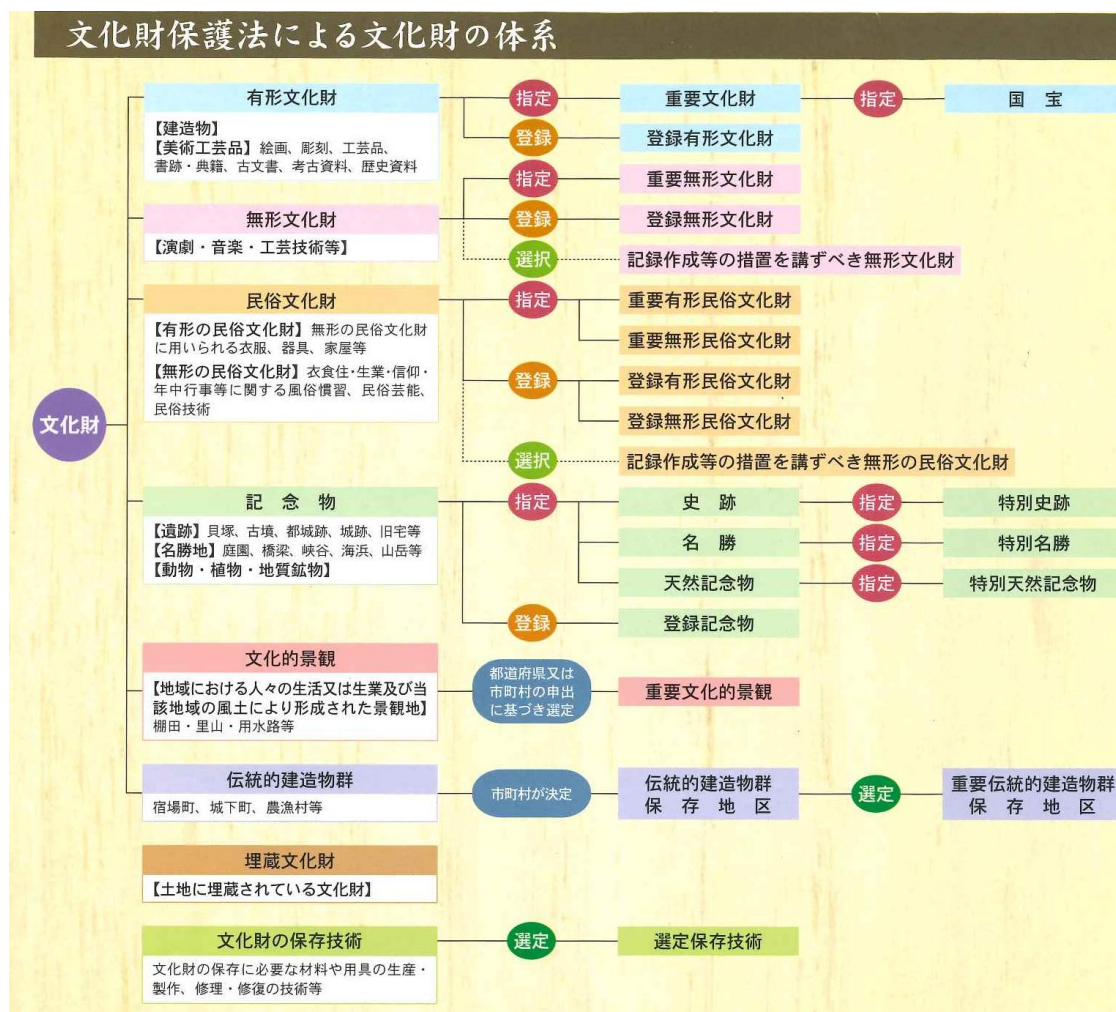
| 大分類 | 中分類 | 細分類 | 国指定・選定 | 国選択 | 県指定 | 市指定 | 国登録 | 計 |
|---------|------------|-------|--------|-------|-----|-----|-----|-----|
| 有形文化財 | 建造物 | | 2 | － | 3 | 35 | 45 | 85 |
| | 美術 工芸品 | 絵画 | 0 | － | 0 | 5 | 0 | 5 |
| | | 彫刻 | 1 | － | 3 | 21 | 0 | 25 |
| | | 彫刻・絵画 | － | － | － | 1 | － | 1 |
| | | 工芸品 | 0 | － | 0 | 1 | 0 | 1 |
| | | 書跡・典籍 | 0 | － | 0 | 4 | 0 | 4 |
| | | 古文書 | 0 | － | 0 | 7 | 0 | 7 |
| | | 考古資料 | 0 | － | 1 | 0 | 0 | 1 |
| | | 歴史資料 | 0 | － | 0 | 4 | 0 | 4 |
| | 石造物 | | － | － | － | 11 | － | 11 |
| 無形文化財 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 民俗文化財 | 有形の民俗文化財 | | 0 | － | 0 | 13 | 0 | 13 |
| | 無形の民俗文化財 | | 0 | (1) ※ | 2 | 13 | 0 | 15 |
| 記念物 | 遺跡 | | 0 | － | 1 | 17 | 0 | 18 |
| | 名勝地 | | 0 | － | 1 | 0 | 0 | 1 |
| | 動物・植物・地質鉱物 | | 4 | － | 11 | 26 | 0 | 41 |
| 文化的景観 | | | 0 | － | － | － | － | 0 |
| 伝統的建造物群 | | | 0 | － | － | － | － | 0 |
| 計 | | | 7 | (1) | 22 | 158 | 45 | 232 |

(令和7年(2025)8月現在)

※国選択の「安曇平のお船祭り」は県および市の文化財に指定されているものと重複しているため、表中では()としています

<コラム> 文化財の体系

文化財保護法に基づく文化財の分類と指定等の体系を下図に示しました。文化財の指定等は、この分類を踏まえ国、県、市でそれぞれ行うことができます。



当市では、市の文化財保護条例第3条で、「教育委員会は、市の区域内に存する文化財（国又は長野県の指定を受けた文化財を除く。）のうち重要なものを次に掲げるそれぞれの文化財として指定することができる」と定められています。その種類は次の（１）～（９）です。

- （１） 安曇野市有形文化財 建造物、絵画、彫刻、工芸品、書跡、典籍、古文書そのほかの有形の文化的所産で、市にとって歴史上又は芸術上価値の高いもの（これらのものと一体をなしてその価値を形成している土地そのほかの物件を含む。）並びに考古資料及びそのほかの学術上価値の高い歴史資料
- （２） 安曇野市無形文化財 演劇、音楽、工芸技術そのほかの無形の文化的所産で、市にとって歴史上又は芸術上価値の高いもの
- （３） 安曇野市有形民俗文化財 無形の民俗文化財に用いられる衣服器具、家屋そのほかの物件で、市民の生活推移を理解するため欠くことのできないもの
- （４） 安曇野市無形民俗文化財 衣食住、生業、信仰、年中行事等に関する風俗慣習、民俗芸能、民俗技術そのほかの物件で、市民の生活推移を理解するため欠くことのできないもの
- （５） 安曇野市史跡 古墳、城跡、旧宅そのほかの遺跡で、市にとって歴史上又は学術上価値の高いもの
- （６） 安曇野市名勝 庭園、橋りょう、山岳そのほかの名勝地で、市にとって芸術上又は観賞上価値の高いもの
- （７） 安曇野市天然記念物 動物（生息地、繁殖地及び渡来地を含む。）、植物（自生地を含む。）及び地質鉱物（特異な自然の現象の生じている土地を含む。）で、市にとって学術上価値の高いもの
- （８） 安曇野市文化的景観 地域における人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成された景観地で、市民の生活又は生業の理解のため欠くことのできないもの
- （９） 安曇野市伝統的建造物群 周囲の環境と一体をなして歴史的風致を形成している建造物群で価値の高いもの

②指定等文化財リスト

当市内の指定等文化財の一覧を表3.2～3.4に示します。

表3.2 当市内指定等文化財一覧

■国指定文化財

| 図中No | 大分類 | 中分類 | 細分類 | 文化財名称 | 所在地域 | 所在地区名 | 指定年月日 |
|------|-------|------------|-----|----------------|------|-------|------------|
| 3 | 有形文化財 | 建造物 | | 曾根原家住宅 | 穂高 | 新屋 | 昭和48年6月2日 |
| 1 | 有形文化財 | 建造物 | | 松尾寺本堂 | 穂高 | 新屋 | 昭和34年6月27日 |
| 2 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 彫刻 | 北條虎吉像 | 穂高 | 穂高町 | 昭和43年4月25日 |
| 5 | 記念物 | 動物・植物・地質鉱物 | | ライチョウ | - | - | 昭和30年2月15日 |
| 6 | 記念物 | 動物・植物・地質鉱物 | | カモシカ | - | - | 昭和30年2月15日 |
| 7 | 記念物 | 動物・植物・地質鉱物 | | ヤマネ | - | - | 昭和50年6月26日 |
| 4 | 記念物 | 動物・植物・地質鉱物 | | 中房温泉の膠状珪酸および珪華 | 穂高 | - | 昭和3年10月4日 |

■国選択文化財

| 図中No | 大分類 | 中分類 | 細分類 | 文化財名称 | 所在地域 | 所在地区名 | 選択年月日 |
|------|-------|----------|-----|----------|--------------|-------|-----------|
| 198 | 民俗文化財 | 無形の民俗文化財 | | 安曇平のお船祭り | 安曇野市・松本市・池田町 | - | 平成29年3月3日 |

■県指定文化財

| 図中No | 大分類 | 中分類 | 細分類 | 文化財名称 | 所在地域 | 所在地区名 | 指定年月日 |
|------|-------|------------|------|----------------------|------|-------|-------------|
| 18 | 有形文化財 | 建造物 | | 法蔵寺山門 | 豊科 | 新田 | 平成7年2月16日 |
| 26 | 有形文化財 | 建造物 | | 光久寺薬師堂 | 明科 | 大足 | 平成23年9月29日 |
| 27 | 有形文化財 | 建造物 | | 長光寺薬師堂及び宮殿 | 明科 | 光 | 平成23年9月29日 |
| 20 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 彫刻 | 木造聖観音立像 | 三郷 | 上長尾 | 昭和52年3月31日 |
| 24 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 彫刻 | 木造日光菩薩立像・木造月光菩薩立像 | 明科 | 大足 | 昭和60年7月29日 |
| 25 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 彫刻 | 泉福寺木造金剛力士立像 | 明科 | 南陸郷 | 平成16年11月22日 |
| 28 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 考古資料 | 信州の特色ある縄文土器 | 穂高 | 新屋 | 平成30年9月27日 |
| 19 | 民俗文化財 | 無形の民俗文化財 | | 穂高神社の御船祭りの習俗 | 穂高 | 穂高 | 平成21年4月30日 |
| 22-1 | 民俗文化財 | 無形の民俗文化財 | | 三郷の道祖神祭り（北小倉の御柱） | 三郷 | 北小倉 | 平成16年11月22日 |
| 22-2 | 民俗文化財 | 無形の民俗文化財 | | 三郷の道祖神祭り（上長尾の道祖神祭り） | 三郷 | 上長尾 | 平成16年11月22日 |
| 22-3 | 民俗文化財 | 無形の民俗文化財 | | 三郷の道祖神祭り（楡・住吉の道祖神祭り） | 三郷 | 楡・住吉 | 平成16年11月22日 |
| 21 | 記念物 | 遺跡 | | 多田加助宅跡 | 三郷 | 中萱 | 昭和35年2月11日 |
| 23 | 記念物 | 名勝地 | | 山口家庭園 | 堀金 | 岩原 | 平成21年4月30日 |
| 29 | 記念物 | 動物・植物・地質鉱物 | | ヤリガタケシジミ | - | - | 昭和50年2月24日 |
| 30 | 記念物 | 動物・植物・地質鉱物 | | タカネヒカゲ | - | - | 昭和50年2月24日 |
| 31 | 記念物 | 動物・植物・地質鉱物 | | クモバネヒカゲ | - | - | 昭和50年2月24日 |
| 32 | 記念物 | 動物・植物・地質鉱物 | | コヒオドシ | - | - | 昭和50年2月24日 |
| 33 | 記念物 | 動物・植物・地質鉱物 | | オオイチモンジ | - | - | 昭和50年2月24日 |
| 34 | 記念物 | 動物・植物・地質鉱物 | | ベニヒカゲ | - | - | 昭和50年2月24日 |
| 35 | 記念物 | 動物・植物・地質鉱物 | | クモツマキチョウ | - | - | 昭和50年2月24日 |
| 36 | 記念物 | 動物・植物・地質鉱物 | | タカネキマダラセセリ | - | - | 昭和50年2月24日 |
| 37 | 記念物 | 動物・植物・地質鉱物 | | ミヤマモンキチョウ | - | - | 昭和50年2月24日 |
| 38 | 記念物 | 動物・植物・地質鉱物 | | ホンシュウモモンガ | - | - | 昭和50年11月4日 |
| 39 | 記念物 | 動物・植物・地質鉱物 | | ホンデオコジョ | - | - | 昭和50年11月4日 |

■市指定文化財

| 図中No | 大分類 | 中分類 | 細分類 | 文化財名称 | 所在地域 | 所在地区名 | 指定年月日 |
|------|-------|-----|-----|------------------|------|-------|-------------|
| 87 | 有形文化財 | 建造物 | | 旧小穴家住宅 | 三郷 | 楡 | 平成20年10月29日 |
| 54 | 有形文化財 | 建造物 | | 満願寺の微妙橋 | 穂高 | 牧 | 平成20年10月29日 |
| 55 | 有形文化財 | 建造物 | | 満願寺の聖天堂 | 穂高 | 牧 | 平成20年10月29日 |
| 60 | 有形文化財 | 建造物 | | 新屋諏訪神社の神楽殿 | 穂高 | 新屋 | 平成20年10月29日 |
| 66 | 有形文化財 | 建造物 | | 有明山神社の裕明門ならびに手水舎 | 穂高 | 古殿 | 平成20年10月29日 |
| 77 | 有形文化財 | 建造物 | | 平福寺の観音堂 | 三郷 | 上長尾 | 平成20年10月29日 |
| 78 | 有形文化財 | 建造物 | | 長尾の諏訪神社本殿 | 三郷 | 上長尾 | 平成20年10月29日 |
| 79 | 有形文化財 | 建造物 | | 七日市場の諏訪神社本殿 | 三郷 | 七日市場 | 平成20年10月29日 |
| 80 | 有形文化財 | 建造物 | | 及木の伍社本殿 | 三郷 | 及木 | 平成20年10月29日 |
| 81 | 有形文化財 | 建造物 | | 住吉神社本殿 | 三郷 | 楡 | 平成20年10月29日 |
| 88 | 有形文化財 | 建造物 | | 中萱の熊野神社本殿 | 三郷 | 中萱 | 平成20年10月29日 |
| 89 | 有形文化財 | 建造物 | | 中萱の熊野神社旧八坂社本殿 | 三郷 | 中萱 | 平成20年10月29日 |
| 90 | 有形文化財 | 建造物 | | 小田多井の八幡神社本殿 | 堀金 | 小田多井 | 平成20年10月29日 |
| 91 | 有形文化財 | 建造物 | | 田多井の加茂神社本殿 | 堀金 | 田多井 | 平成20年10月29日 |
| 96 | 有形文化財 | 建造物 | | 宗林寺の本堂 | 明科 | 光 | 平成20年10月29日 |
| 97 | 有形文化財 | 建造物 | | 宗林寺の山門 | 明科 | 光 | 平成20年10月29日 |
| 98 | 有形文化財 | 建造物 | | 雲龍寺の本堂 | 明科 | 町 | 平成20年10月29日 |
| 99 | 有形文化財 | 建造物 | | 雲龍寺の山門 | 明科 | 町 | 平成20年10月29日 |
| 100 | 有形文化財 | 建造物 | | 名九鬼の地藏堂 | 明科 | 潮沢 | 平成20年10月29日 |
| 101 | 有形文化財 | 建造物 | | 泉福寺の本堂 | 明科 | 南陸郷 | 平成20年10月29日 |
| 102 | 有形文化財 | 建造物 | | 泉福寺の薬師堂 | 明科 | 南陸郷 | 平成20年10月29日 |

表3.3 当市内指定等文化財一覧

■市指定文化財

| 図中No | 大分類 | 中分類 | 細分類 | 文化財名称 | 所在地域 | 所在地区名 | 指定年月日 |
|------|-------|-------|-------|--------------------|------|-------|-------------|
| 103 | 有形文化財 | 建造物 | | 光の五社本殿 | 明科 | 光 | 平成20年10月29日 |
| 104 | 有形文化財 | 建造物 | | 潮神明宮本殿 | 明科 | 潮 | 平成20年10月29日 |
| 105 | 有形文化財 | 建造物 | | 小芹春日社の神楽殿回り舞台 | 明科 | 潮沢 | 平成20年10月29日 |
| 106 | 有形文化財 | 建造物 | | 中村の六己社本殿 | 明科 | 南陸郷 | 平成20年10月29日 |
| 196 | 有形文化財 | 建造物 | | 吉野神社本殿 | 豊科 | 吉野 | 令和5年4月6日 |
| 61 | 有形文化財 | 建造物 | | 鐘の鳴る丘集会所 | 穂高 | 新屋 | 平成20年10月29日 |
| 47 | 有形文化財 | 建造物 | | 下鳥羽本郷の井戸 | 豊科 | 下鳥羽 | 平成20年10月29日 |
| 56 | 有形文化財 | 建造物 | | 等々力家の長屋門 | 穂高 | 等々力 | 平成20年10月29日 |
| 82 | 有形文化財 | 建造物 | | 一日市場の屋台（ぶてん・舞台） | 三郷 | 一日市場 | 平成20年10月29日 |
| 83 | 有形文化財 | 建造物 | | 二木の屋台（ぶてん） | 三郷 | 二木 | 平成20年10月29日 |
| 84 | 有形文化財 | 建造物 | | 上長尾の屋台（ぶてん） | 三郷 | 上長尾 | 平成20年10月29日 |
| 85 | 有形文化財 | 建造物 | | 北小倉白山社の屋台（ぶてん） | 三郷 | 北小倉 | 平成20年10月29日 |
| 86 | 有形文化財 | 建造物 | | 七日市場の屋台（ぶてん） | 三郷 | 七日市場 | 平成20年10月29日 |
| 95 | 有形文化財 | 建造物 | | 青柳家の旧松本城大手門 | 堀金 | 上堀 | 平成20年10月29日 |
| 62 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 絵画 | 松澤求策の肖像 | 堀金 | 上堀 | 平成20年10月29日 |
| 69 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 絵画 | 有明山神社神楽殿の小細格天井板絵 | 穂高 | 古厩 | 平成20年10月29日 |
| 111 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 絵画 | 給然寺の紙本観経曼陀羅 | 明科 | 宮中 | 平成20年10月29日 |
| 112 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 絵画 | 泉福寺の絹本十二天画像 | 明科 | 南陸郷 | 平成20年10月29日 |
| 113 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 絵画 | 泉福寺の絹本不動明王像 | 明科 | 南陸郷 | 平成20年10月29日 |
| 42 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 彫刻 | 専念寺の銅造釈迦誕生仏 | 豊科 | 真々部 | 平成20年10月29日 |
| 43 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 彫刻 | 日光寺の木造金剛力士立像 | 豊科 | 下鳥羽 | 平成20年10月29日 |
| 45 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 彫刻 | 重柳大日堂の木造大日如来坐像 | 豊科 | 重柳 | 平成20年10月29日 |
| 46 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 彫刻 | 旧仏法寺の木造阿弥陀如来坐像 | 豊科 | 熊倉 | 平成20年10月29日 |
| 48 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 彫刻 | 大同神社の木造隨身半跏像 | 豊科 | 下鳥羽 | 平成20年10月29日 |
| 51 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 彫刻 | 正福寺の木造不動明王立像 | 穂高 | 古厩 | 平成20年10月29日 |
| 52 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 彫刻 | 耳塚の堂の木造阿弥陀如来坐像 | 穂高 | 耳塚 | 平成20年10月29日 |
| 53 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 彫刻 | 東光寺の木造阿弥陀如来立像 | 穂高 | 等々力 | 平成20年10月29日 |
| 72 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 彫刻 | 一日市場観音堂の木造釈迦如来坐像 | 三郷 | 一日市場 | 平成20年10月29日 |
| 73 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 彫刻 | 一日市場観音堂の木造聖観世音菩薩立像 | 三郷 | 一日市場 | 平成20年10月29日 |
| 93 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 彫刻 | 田尻不動堂の木造目赤不動明王立像 | 堀金 | 田尻 | 平成20年10月29日 |
| 94 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 彫刻 | 下堀扇町諏訪神社 神鏡 | 堀金 | 下堀 | 平成20年10月29日 |
| 114 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 彫刻 | 長光寺の木造薬師如来坐像 | 明科 | 光 | 平成20年10月29日 |
| 115 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 彫刻 | 雲龍寺の木造大日如来坐像 | 明科 | 町 | 平成20年10月29日 |
| 116 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 彫刻 | 龍門寺の木造聖観音菩薩坐像 | 明科 | 明科 | 平成20年10月29日 |
| 117 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 彫刻 | 平毘沙門堂の木造毘沙門天立像 | 明科 | 大足 | 平成20年10月29日 |
| 118 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 彫刻 | 潮神明宮の木造狛犬像 | 明科 | 潮 | 平成20年10月29日 |
| 119 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 彫刻 | 漆久保弥勒堂の木造弥勒菩薩坐像 | 明科 | 潮沢 | 平成20年10月29日 |
| 120 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 彫刻 | 小芹薬師堂の木造薬師如来立像 | 明科 | 潮沢 | 平成20年10月29日 |
| 121 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 彫刻 | 上生野観音堂の木造聖観音坐像 | 明科 | 上生野 | 平成20年10月29日 |
| 122 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 彫刻 | 長光寺の木造臥竜彫刻 | 明科 | 光 | 平成20年10月29日 |
| 50 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 彫刻・絵画 | 碌山美術館の荻原守衛（碌山）全作品 | 穂高 | 穂高町 | 平成20年10月29日 |
| 41 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 書跡・典籍 | 旧高家小学校跡の西田幾多郎碑 | 豊科 | 下飯田 | 平成20年10月29日 |
| 57 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 古文書 | 等々力家の古文書 | 堀金 | 上堀 | 平成20年10月29日 |
| 58 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 古文書 | 三宮穂高社御造宮定日記 | 穂高 | 穂高 | 平成20年10月29日 |
| 63 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 歴史資料 | 松澤求策関係書（穂高商会関係） | 堀金 | 上堀 | 平成20年10月29日 |
| 64 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 歴史資料 | 松澤求策関係文書 | 堀金 | 上堀 | 平成20年10月29日 |
| 65 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 歴史資料 | 井口喜源治関係文書 | 穂高 | 等々力町 | 平成20年10月29日 |
| 197 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 歴史資料 | 清澤冽文庫 | 堀金 | 上堀 | 令和6年6月26日 |
| 71 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 書跡・典籍 | 有明山神社の詩歌集「残月集」 | 穂高 | 古厩 | 平成20年10月29日 |
| 74 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 書跡・典籍 | 貞享義民社の梧竹の額 | 三郷 | 中萱 | 平成20年10月29日 |
| 75 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 書跡・典籍 | 貞享義民社の貞享義烈碑 | 三郷 | 中萱 | 平成20年10月29日 |
| 76 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 古文書 | 住吉神社の古文書 | 三郷 | 楡 | 平成20年10月29日 |
| 123 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 古文書 | 大庄屋関氏文書 | 堀金 | 上堀 | 平成20年10月29日 |
| 124 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 古文書 | 潮神明宮の日岐盛直神田寄進状 | 明科 | 潮 | 平成20年10月29日 |
| 125 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 古文書 | 泉福寺の紙本武田信玄禁制札 | 明科 | 南陸郷 | 平成20年10月29日 |
| 194 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 古文書 | 満願寺の古文書 | 堀金 | 上堀 | 令和2年8月25日 |
| 59 | 有形文化財 | 美術工芸品 | 工芸品 | 穂高神社の鷲足膳 | 穂高 | 穂高 | 平成20年10月29日 |

表3.4 当市内指定等文化財一覧

■市指定文化財

| 図中No | 大分類 | 中分類 | 細分類 | 文化財名称 | 所在地域 | 所在地区名 | 指定年月日 |
|------|-------|------------|-----|-----------------------|------|-------|-------------|
| 40 | 有形文化財 | 石造物 | | 菊花紋道祖神 | 豊科 | 本村 | 平成20年1月23日 |
| 49 | 有形文化財 | 石造物 | | 本村の神代文字碑 | 豊科 | 本村 | 平成20年10月29日 |
| 70 | 有形文化財 | 石造物 | | 新屋公民館前の大黒天と道祖神及び石造群 | 穂高 | 新屋 | 平成20年10月29日 |
| 109 | 有形文化財 | 石造物 | | 池桜の石造接吻道祖神 | 明科 | 潮沢 | 平成20年10月29日 |
| 44 | 有形文化財 | 石造物 | | 新田公民館前の藤森桂谷頌徳碑 | 豊科 | 新田 | 平成20年10月29日 |
| 67 | 有形文化財 | 石造物 | | 穂高神社の手洗石と手水舎 | 穂高 | 穂高 | 平成20年10月29日 |
| 68 | 有形文化財 | 石造物 | | 穂高神社の神橋 | 穂高 | 穂高 | 平成20年10月29日 |
| 92 | 有形文化財 | 石造物 | | 旧安楽寺跡の石造宝篋印塔 | 堀金 | 岩原 | 平成20年10月29日 |
| 107 | 有形文化財 | 石造物 | | 宗林寺の石造宝篋印塔 | 明科 | 光 | 平成20年10月29日 |
| 108 | 有形文化財 | 石造物 | | 光久寺の石造宝篋印塔 | 明科 | 大足 | 平成20年10月29日 |
| 110 | 有形文化財 | 石造物 | | 小泉の梵字庚申塔 | 明科 | 南陸郷 | 平成20年10月29日 |
| 126 | 民俗文化財 | 有形の民俗文化財 | | 旧仏法寺の石造百体観音 | 豊科 | 熊倉 | 平成20年10月29日 |
| 138 | 民俗文化財 | 有形の民俗文化財 | | 下押野青柳庵の石仏群 | 明科 | 下押野 | 平成20年10月29日 |
| 127 | 民俗文化財 | 有形の民俗文化財 | | 穂高神社の絵馬 | 穂高 | 穂高 | 平成20年10月29日 |
| 128 | 民俗文化財 | 有形の民俗文化財 | | 満願寺の絵馬 | 穂高 | 牧 | 平成20年10月29日 |
| 129 | 民俗文化財 | 有形の民俗文化財 | | 新屋諏訪神社の絵馬 | 穂高 | 新屋 | 平成20年10月29日 |
| 130 | 民俗文化財 | 有形の民俗文化財 | | 新屋諏訪神社の拝殿修復寄附者名板 | 穂高 | 新屋 | 平成20年10月29日 |
| 131 | 民俗文化財 | 有形の民俗文化財 | | 新屋諏訪神社の奉願句集 | 穂高 | 新屋 | 平成20年10月29日 |
| 132 | 民俗文化財 | 有形の民俗文化財 | | 住吉神社の絵馬 | 三郷 | 楡 | 平成20年10月29日 |
| 133 | 民俗文化財 | 有形の民俗文化財 | | 平福寺の絵馬・唐絵・仏画 | 三郷 | 上長尾 | 平成20年10月29日 |
| 134 | 民俗文化財 | 有形の民俗文化財 | | 伍社宮の絵馬 | 三郷 | 及木 | 平成20年10月29日 |
| 135 | 民俗文化財 | 有形の民俗文化財 | | 平福寺の俳句懸額 | 三郷 | 上長尾 | 平成20年10月29日 |
| 136 | 民俗文化財 | 有形の民俗文化財 | | 浄心寺の絵馬 | 三郷 | 北小倉 | 平成20年10月29日 |
| 137 | 民俗文化財 | 有形の民俗文化財 | | 中萱熊野神社の絵馬 | 三郷 | 中萱 | 平成20年10月29日 |
| 181 | 民俗文化財 | 無形の民俗文化財 | | 穂高神社のお奉射神事 | 穂高 | 穂高 | 平成21年9月25日 |
| 182 | 民俗文化財 | 無形の民俗文化財 | | 福俵 | 豊科 | 成相 | 平成21年9月25日 |
| 183 | 民俗文化財 | 無形の民俗文化財 | | 福俵 | 豊科 | 新田 | 平成21年9月25日 |
| 184 | 民俗文化財 | 無形の民俗文化財 | | 熊野神社のお船祭り | 三郷 | 中萱 | 平成21年9月25日 |
| 185 | 民俗文化財 | 無形の民俗文化財 | | 野沢祭りばやし | 三郷 | 野沢 | 平成21年9月25日 |
| 186 | 民俗文化財 | 無形の民俗文化財 | | 住吉神社のお船祭り | 三郷 | 楡 | 平成21年9月25日 |
| 187 | 民俗文化財 | 無形の民俗文化財 | | 田沢神明宮奉納獅子舞 | 豊科 | 田沢 | 平成21年9月25日 |
| 188 | 民俗文化財 | 無形の民俗文化財 | | 重柳八幡宮祭り舟 | 豊科 | 重柳 | 平成21年9月25日 |
| 189 | 民俗文化財 | 無形の民俗文化財 | | 穂高神社式年遷座祭 | 穂高 | 穂高 | 平成21年9月25日 |
| 190 | 民俗文化財 | 無形の民俗文化財 | | 上長尾の獅子舞 | 三郷 | 上長尾 | 平成22年3月26日 |
| 191 | 民俗文化財 | 無形の民俗文化財 | | 潮神明宮の柴舟と人形飾り物 | 明科 | 潮 | 平成22年3月26日 |
| 192 | 民俗文化財 | 無形の民俗文化財 | | 荻原神社のお船祭り | 明科 | 荻原 | 平成24年11月26日 |
| 193 | 民俗文化財 | 無形の民俗文化財 | | 岩原山神社のお舟祭り | 堀金 | 岩原 | 平成24年11月26日 |
| 139 | 記念物 | 遺跡 | | 吉野の堀屋敷跡 | 豊科 | 吉野 | 平成20年10月29日 |
| 140 | 記念物 | 遺跡 | | 吉野町館跡 | 豊科 | 吉野 | 平成20年10月29日 |
| 141 | 記念物 | 遺跡 | | 鳥羽館跡 | 豊科 | 上鳥羽 | 平成20年10月29日 |
| 142 | 記念物 | 遺跡 | | 真々部氏館跡 | 豊科 | 真々部 | 平成20年10月29日 |
| 143 | 記念物 | 遺跡 | | 飯田岩跡 | 豊科 | 飯田 | 平成20年10月29日 |
| 144 | 記念物 | 遺跡 | | 構えの墓屋敷跡 | 豊科 | 成相 | 平成20年10月29日 |
| 147 | 記念物 | 遺跡 | | 法蔵寺館跡 | 豊科 | 新田 | 平成20年10月29日 |
| 145 | 記念物 | 遺跡 | | 上ノ山城跡 | 豊科 | 田沢 | 平成20年10月29日 |
| 146 | 記念物 | 遺跡 | | 光城跡 | 豊科 | 光 | 平成20年10月29日 |
| 149 | 記念物 | 遺跡 | | 小岩嶽城跡 | 穂高 | 小岩嶽 | 平成20年10月29日 |
| 153 | 記念物 | 遺跡 | | 小倉城址 | 三郷 | 北小倉 | 平成20年10月29日 |
| 154 | 記念物 | 遺跡 | | 長尾城址 | 三郷 | 上長尾 | 平成20年10月29日 |
| 155 | 記念物 | 遺跡 | | 塔ノ原城跡 | 明科 | 町 | 平成20年10月29日 |
| 148 | 記念物 | 遺跡 | | 穂高古墳群 | 穂高 | 古厩～牧等 | 平成20年10月29日 |
| 150 | 記念物 | 遺跡 | | 研成義塾跡 | 穂高 | 矢原 | 平成20年10月29日 |
| 152 | 記念物 | 遺跡 | | 研成義塾創設の地跡 | 穂高 | 矢原 | 平成20年10月29日 |
| 151 | 記念物 | 遺跡 | | 離山遺跡 | 穂高 | 牧 | 平成20年10月29日 |
| 195 | 記念物 | 動物・植物・地質鉱物 | | 安曇野のオオルリシジミ | - | - | 令和4年3月30日 |
| 156 | 記念物 | 動物・植物・地質鉱物 | | 吉野熊野権現神社のバクシン並びにツルマサキ | 豊科 | 吉野 | 平成20年10月29日 |
| 157 | 記念物 | 動物・植物・地質鉱物 | | 吉野荒井堂の大銀杏 | 豊科 | 吉野 | 平成20年10月29日 |
| 158 | 記念物 | 動物・植物・地質鉱物 | | 本村の大シダレザクラ | 豊科 | 本村 | 平成20年10月29日 |
| 159 | 記念物 | 動物・植物・地質鉱物 | | 吉野神社のシダレヒノキ | 豊科 | 吉野 | 平成20年10月29日 |
| 160 | 記念物 | 動物・植物・地質鉱物 | | 寺所の山桑の古木 | 豊科 | 寺所 | 平成20年10月29日 |
| 161 | 記念物 | 動物・植物・地質鉱物 | | 田沢神明宮社叢 | 豊科 | 小瀬幅 | 平成20年10月29日 |
| 163 | 記念物 | 動物・植物・地質鉱物 | | 正福寺の杉 | 穂高 | 古厩 | 平成20年10月29日 |
| 164 | 記念物 | 動物・植物・地質鉱物 | | 穂高神社大門の樺 | 穂高 | 穂高 | 平成20年10月29日 |
| 165 | 記念物 | 動物・植物・地質鉱物 | | 等々力家のバクシン | 穂高 | 等々力 | 平成20年10月29日 |
| 166 | 記念物 | 動物・植物・地質鉱物 | | 穂高神社若宮西の樺 | 穂高 | 穂高 | 平成20年10月29日 |
| 167 | 記念物 | 動物・植物・地質鉱物 | | 南小倉のシダレヒガンの巨木 | 三郷 | 南小倉 | 平成20年10月29日 |
| 168 | 記念物 | 動物・植物・地質鉱物 | | 大室のシダレヒガンの巨木 | 三郷 | 南小倉 | 平成20年10月29日 |

表3.5 当市内指定等文化財一覧

■市指定文化財

| 図中No | 大分類 | 中分類 | 細分類 | 文化財名称 | 所在地域 | 所在地区名 | 指定年月日 |
|------|-----|------------|-----|------------------------------|------|-------|-------------|
| 169 | 記念物 | 動物・植物・地質鉱物 | | 一日市場東の桑の大樹 | 三郷 | 一日市場 | 平成20年10月29日 |
| 170 | 記念物 | 動物・植物・地質鉱物 | | 一日市場西の桑の大樹 | 三郷 | 一日市場 | 平成20年10月29日 |
| 171 | 記念物 | 動物・植物・地質鉱物 | | 旧淨心寺跡のクロマツ・カヤ・イチヨウ | 三郷 | 北小倉 | 平成20年10月29日 |
| 172 | 記念物 | 動物・植物・地質鉱物 | | 南小倉古原のカスミザクラ | 三郷 | 南小倉 | 平成20年10月29日 |
| 173 | 記念物 | 動物・植物・地質鉱物 | | 住吉神社の社叢 | 三郷 | 楡 | 平成20年10月29日 |
| 174 | 記念物 | 動物・植物・地質鉱物 | | 旧温明小学校跡のヒマヤスギ・ユリノキ | 三郷 | 二木 | 平成20年10月29日 |
| 175 | 記念物 | 動物・植物・地質鉱物 | | 住吉神社御神木「ヒノキ」 | 三郷 | 楡 | 平成20年10月29日 |
| 176 | 記念物 | 動物・植物・地質鉱物 | | 小芹荒神社のケヤキ | 明科 | 潮沢 | 平成20年10月29日 |
| 177 | 記念物 | 動物・植物・地質鉱物 | | 小泉金井氏氏神のキノテガシワ | 明科 | 南陸郷 | 平成20年10月29日 |
| 178 | 記念物 | 動物・植物・地質鉱物 | | 塩川原天狗社のケヤキ | 明科 | 塩川原 | 平成20年10月29日 |
| 179 | 記念物 | 動物・植物・地質鉱物 | | 小日向のクヌギ | 明科 | 潮沢 | 平成20年10月29日 |
| 180 | 記念物 | 動物・植物・地質鉱物 | | 矢原社宮地のマユミ | 穂高 | 矢原 | 平成21年9月25日 |
| 162 | 記念物 | 動物・植物・地質鉱物 | | 田沢山の巨大礫 ^{（おおいでいれぎ）} | 豊科 | 新田 | 平成20年10月29日 |

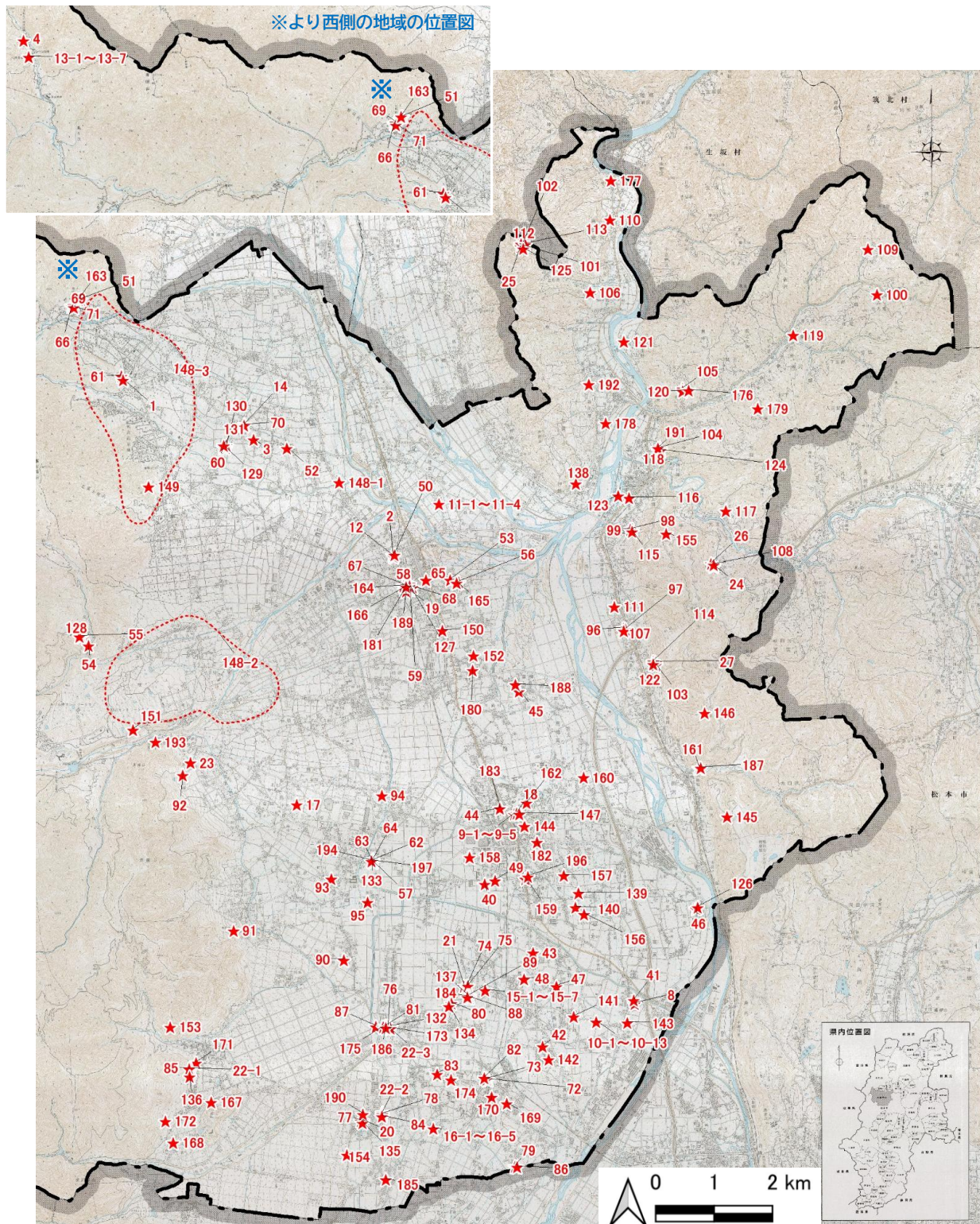
■国登録文化財

| 図中No | 大分類 | 中分類 | 細分類 | 文化財名称 | 所在地域 | 所在地区名 | 登録年月日 |
|-------|-------|-----|-----|---|------|-------|-------------|
| 10-1 | 有形文化財 | 建造物 | | 飯田家住宅主屋 | 豊科 | 飯田 | 平成17年12月26日 |
| 10-2 | 有形文化財 | 建造物 | | 飯田家住宅文庫蔵・隠居屋 | 豊科 | 飯田 | 平成17年12月26日 |
| 10-3 | 有形文化財 | 建造物 | | 飯田家住宅質蔵 | 豊科 | 飯田 | 平成17年12月26日 |
| 10-4 | 有形文化財 | 建造物 | | 飯田家住宅味噌蔵 | 豊科 | 飯田 | 平成17年12月26日 |
| 10-5 | 有形文化財 | 建造物 | | 飯田家住宅蔵 | 豊科 | 飯田 | 平成17年12月26日 |
| 10-6 | 有形文化財 | 建造物 | | 飯田家住宅米蔵 | 豊科 | 飯田 | 平成17年12月26日 |
| 10-7 | 有形文化財 | 建造物 | | 飯田家住宅醸造蔵一 | 豊科 | 飯田 | 平成17年12月26日 |
| 10-8 | 有形文化財 | 建造物 | | 飯田家住宅醸造蔵二 | 豊科 | 飯田 | 平成17年12月26日 |
| 10-9 | 有形文化財 | 建造物 | | 飯田家住宅物置一 | 豊科 | 飯田 | 平成17年12月26日 |
| 10-10 | 有形文化財 | 建造物 | | 飯田家住宅物置二 | 豊科 | 飯田 | 平成17年12月26日 |
| 10-11 | 有形文化財 | 建造物 | | 飯田家住宅門番所 | 豊科 | 飯田 | 平成17年12月26日 |
| 10-12 | 有形文化財 | 建造物 | | 飯田家住宅内門 | 豊科 | 飯田 | 平成17年12月26日 |
| 10-13 | 有形文化財 | 建造物 | | 飯田家住宅塀 | 豊科 | 飯田 | 平成17年12月26日 |
| 11-1 | 有形文化財 | 建造物 | | 旧高橋家住宅主屋 | 穂高 | 狐島 | 平成15年7月17日 |
| 11-2 | 有形文化財 | 建造物 | | 旧高橋家住宅南蔵 | 穂高 | 狐島 | 平成15年7月17日 |
| 11-3 | 有形文化財 | 建造物 | | 旧高橋家住宅西蔵 | 穂高 | 狐島 | 平成15年7月17日 |
| 11-4 | 有形文化財 | 建造物 | | 旧高橋家住宅北蔵 | 穂高 | 狐島 | 平成15年7月17日 |
| 15-1 | 有形文化財 | 建造物 | | 宮澤家住宅主屋 | 三郷 | 中萱 | 平成10年9月25日 |
| 15-2 | 有形文化財 | 建造物 | | 宮澤家住宅はなれ | 三郷 | 中萱 | 平成10年9月25日 |
| 15-3 | 有形文化財 | 建造物 | | 宮澤家住宅土蔵 | 三郷 | 中萱 | 平成10年9月25日 |
| 15-4 | 有形文化財 | 建造物 | | 宮澤家住宅門柱・石塀・屋根塀 | 三郷 | 中萱 | 平成10年9月25日 |
| 15-5 | 有形文化財 | 建造物 | | 宮澤家住宅腕木門 | 三郷 | 中萱 | 平成10年9月25日 |
| 15-6 | 有形文化財 | 建造物 | | 宮澤家住宅冠木門 | 三郷 | 中萱 | 平成10年9月25日 |
| 15-7 | 有形文化財 | 建造物 | | 宮澤家住宅納屋・旧鳥小屋 | 三郷 | 中萱 | 平成10年9月25日 |
| 16-1 | 有形文化財 | 建造物 | | 中村家住宅主屋 | 三郷 | 下長尾 | 平成18年4月12日 |
| 16-2 | 有形文化財 | 建造物 | | 中村家住宅表土蔵 | 三郷 | 下長尾 | 平成18年4月12日 |
| 16-3 | 有形文化財 | 建造物 | | 中村家住宅裏土蔵 | 三郷 | 下長尾 | 平成18年4月12日 |
| 16-4 | 有形文化財 | 建造物 | | 中村家住宅納屋 | 三郷 | 下長尾 | 平成18年4月12日 |
| 16-5 | 有形文化財 | 建造物 | | 中村家住宅門及び塀 | 三郷 | 下長尾 | 平成18年4月12日 |
| 9-1 | 有形文化財 | 建造物 | | 法蔵寺鐘樓門 | 豊科 | 新田 | 平成17年12月26日 |
| 9-2 | 有形文化財 | 建造物 | | 法蔵寺庫裏 | 豊科 | 新田 | 平成17年12月26日 |
| 9-3 | 有形文化財 | 建造物 | | 法蔵寺書院 | 豊科 | 新田 | 平成17年12月26日 |
| 9-4 | 有形文化財 | 建造物 | | 法蔵寺土蔵 | 豊科 | 新田 | 平成17年12月26日 |
| 9-5 | 有形文化財 | 建造物 | | 法蔵寺裏門 | 豊科 | 新田 | 平成17年12月26日 |
| 8 | 有形文化財 | 建造物 | | 信濃教育会生涯学習センター | 豊科 | 下飯田 | 平成12年3月2日 |
| 12 | 有形文化財 | 建造物 | | 碌山美術館碌山館 ^{（ろくざん びじゅつかん ろくざん かん）} | 穂高 | 等々力町 | 平成22年2月3日 |
| 14 | 有形文化財 | 建造物 | | 新屋公民館 | 穂高 | 新屋 | 平成24年8月13日 |
| 17 | 有形文化財 | 建造物 | | 長野県南安曇農業高等学校第二農場日輪舎 ^{（にちりんしや）} | 堀金 | 倉田 | 平成21年4月28日 |
| 13-1 | 有形文化財 | 建造物 | | 中房温泉本館菊 | 穂高 | - | 平成23年7月25日 |
| 13-2 | 有形文化財 | 建造物 | | 中房温泉旧湯会所 | 穂高 | - | 平成23年7月25日 |
| 13-3 | 有形文化財 | 建造物 | | 中房温泉田村薬師堂 | 穂高 | - | 平成23年7月25日 |
| 13-4 | 有形文化財 | 建造物 | | 中房温泉山の神の社 | 穂高 | - | 平成23年7月25日 |
| 13-5 | 有形文化財 | 建造物 | | 中房温泉大プール | 穂高 | - | 平成23年7月25日 |
| 13-6 | 有形文化財 | 建造物 | | 中房温泉土蔵 | 穂高 | - | 平成23年7月25日 |
| 13-7 | 有形文化財 | 建造物 | | 中房温泉板倉 | 穂高 | - | 平成23年7月25日 |

③指定等文化財の位置

市内の指定等文化財の位置を下図に示します。

なお、移動する動物類や広域的な祭りが対象として選択されている「安曇平のお船祭り」は図示の対象から外しています。



注) 図中の番号は32～35ページの表に対応

図3.1 当市内指定等文化財の位置図

④指定等文化財の地域別内訳

市内の指定等文化財に関する地域別の内訳を表3.6に示します。

豊科地域で52件、穂高地域で54件、三郷地域で54件、堀金地域で16件、明科地域で41件で、そのほか15件は位置を5地域のいずれかに特定できないもの（動物、複数の地域で指定されている文化財）です。

五つの地域の人口規模、面積等を勘案すると堀金地域で相対的に少ない傾向がみられます。また、種別では、社寺の建造物や彫刻類の指定は明科地域で多く、絵馬等の民俗に係る用具は穂高・三郷地域に限定している等、指定の優先度や選定基準の解釈が旧町村単位で異なると推測される傾向もみられます。

表3.6 指定等文化財の件数（所在地域別集計）

(単位：件)

| 大分類 | 中分類 | 細分類 | 豊科 | 穂高 | 三郷 | 堀金 | 明科 | その他 | 計 |
|---------|------------|-------|----|----|----|----|----|--------|-----|
| 有形文化財 | 建造物 | | 22 | 21 | 25 | 4 | 13 | 0 | 85 |
| | 美術 工芸品 | 絵画 | 0 | 1 | 0 | 1 | 3 | 0 | 5 |
| | | 彫刻 | 5 | 4 | 3 | 2 | 11 | 0 | 25 |
| | | 彫刻・絵画 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | | 工芸品 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | | 書跡・典籍 | 1 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 4 |
| | | 古文書 | 0 | 1 | 1 | 3 | 2 | 0 | 7 |
| | | 考古資料 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | | 歴史資料 | 0 | 1 | 0 | 3 | 0 | 0 | 4 |
| | 石造物 | | 3 | 3 | 0 | 1 | 4 | 0 | 11 |
| 無形文化財 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 民俗文化財 | 有形の民俗文化財 | | 1 | 5 | 6 | 0 | 1 | 0 | 13 |
| | 無形の民俗文化財 | | 4 | 3 | 5 | 1 | 2 | (1) | 15 |
| 記念物 | 遺跡 | | 9 | 5 | 3 | 0 | 1 | 0 | 18 |
| | 名勝地 | | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| | 動物・植物・地質鉱物 | | 7 | 6 | 9 | 0 | 4 | 15 | 41 |
| 文化的景観 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 伝統的建造物群 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | | | 52 | 54 | 54 | 16 | 41 | 15 (1) | 232 |

(令和7年(2025) 8月現在)

※国選択の「安曇平のお船祭り」は県および市の文化財に指定されているものと重複しているため、表中では()としています

(2) 指定等文化財の特徴

①有形文化財

1) 建造物

市内に85件（国指定2件、県指定3件、市指定35件、国登録45件）あります。

国指定の文化財2件のうち、「曾根原家住宅」（新屋）は、17世紀半ばの当市域の裕福な農家建築です。長野県中信地方に特有な民家形式である本棟造りが完成される途中の特徴を持っています。もう1件の「松尾寺本堂」（新屋）は信州における室町時代末期の仁科文化の一端を知る貴重な建物の一つです。



図3.2 曾根原家住宅

県指定の建造物は「法蔵寺山門」（新田）、「光久寺薬師堂」（大足）、「長光寺薬師堂及び宮殿」（明科光）の3件で、いずれも江戸時代中期の建築様式の特徴を残す建築物です。

市指定の35件を種類別の内訳でみると、社寺建築が25件で多数を占めています。これらを地域別にみると明科地域11件、三郷地域7件、穂高地域4件、堀金地域2件、豊科地域1件となります。明科地域で最古の「宗林寺の本堂」（明科光）、三郷地域で最古の「熊野神社本殿」、「熊野神社旧八坂社本殿」（いずれも中萱）がみられます。また、堀金地域の「小田多井の八幡神社本殿」、豊科地域の「吉野神社本殿」等穂高神社本殿の払い下げ社殿があり、江戸時代の特徴を示すものがその多くを占めます。穂高地域の「満願寺の微妙橋」、「満願寺の聖天堂」（牧）、「有明山神社の裕明門ならびに手水舎」（古厩）は明治時代の技法や意匠性の面で優れた建造物です。

社寺建築以外は、「一日市場の屋台（ぶてん・舞台）」をはじめとする舞台が5件（すべて三郷地域）あり、このほかに中信地区で現存する茅葺民家の中で最も古い「旧小穴家住宅」（楡）、松本城から移築されたといわれる「青柳家の旧松本城大手門」（上堀）、「等々力家の長屋門」（等々力）、村内外の多くの人々に利用された「下鳥羽本郷の井戸」があります。

国の登録文化財は45件あり、住宅、社寺、公共、産業系の建築に大別されます。

住宅建築は、「飯田家住宅主屋」ほか12件、「旧高橋家住宅主屋」ほか3件、「宮澤家住宅主屋」ほか6件、「中村家住宅主屋」ほか4件の4か所、計29件が登録されています。飯田家、旧高橋家、中村家の各住宅は江戸時代の名主の屋敷としての特徴を示し、宮澤家は戦前期の豪農住宅の典型としての特徴を示しています。

社寺建築は「法蔵寺鐘楼門」、「庫裏^{くり}」等（新田）

1か所5件あります。「庫裏」はもとは岩原にあった旧安楽寺のもので、廃仏毀釈の際に取り壊されそうになったものを旧穂高町の小川為一郎氏が買い取り自宅に移築しました。その後、明治38年（1905）に法蔵寺に移築された歴史を有します。

公共建築は「信濃教育会生涯学習センター」（下飯田）、「碌山美術館碌山館」（等々力町）、「新屋公民館」、「長野県南安曇農業高等学校第二農場日輪舎」



図3.3 松尾寺本堂



図3.4 青柳家の旧松本城大手門



図3.5 旧高橋家住宅主屋



図3.6 法蔵寺庫裏



図3.7 信濃教育会生涯学習センター

(倉田)の4件があり、いずれも昭和時代初期から戦後間もない時期に建てられた特徴的な意匠の建築物です。産業系の建築物には「中房温泉本館菊」、「旧湯会所」、「田村薬師堂」、「山の神の社」、「温泉大プール」等7件があり、近代登山の歴史的文脈を伝える重要な場であり、湯治場の歴史を伝える建物としても重要な文化財です。

2) 美術工芸品

(I) 絵画

5件すべてが市指定です。

「泉福寺の絹本十二天画像」、「泉福寺の絹本不動明王像」(南陸郷)は室町・戦国時代に描かれた秀逸な作品です。十二天は密教における方位を守護する神々であり、泉福寺での重要な修法や儀式の際に、道場の守護神として用いられました。不動明王の画像とともに寺宝として保存されてきたものです。

このほか、阿弥陀三尊を中心に無数の仏と殿堂、舞楽が物語のように広がる「給然寺の紙本観経曼陀羅」(宮中:時代不明)、明治時代から大正時代に活躍した代表的な作家や中央の名士による作品が集められた「有明山神社神楽殿の小組格天井板絵」(古厩)、「松澤求策の肖像」(上堀)が指定されています。

(II) 彫刻

市内に26件(国指定1件、県指定3件、市指定22件)あります。

国の重要文化財である荻原守衛(碌山)作「北條虎吉像」(石膏原型)は明治42年(1909)の第3回文展に「労働者」とともに出品され、高村光太郎が「この作には人間が見える」と激賞した作品です。

県指定の「木造聖観音立像」(上長尾:平福寺)、「木造日光菩薩立像・木造月光菩薩立像」(大足:光久寺)はいずれも鎌倉時代に制作された像です。「泉福寺木造金剛力士立像」(南陸郷)は室町時代の作で、県内でも伝存する数少ない中世の金剛力士像の一つです。

市指定の22件のうち17件は江戸時代初期以前の彫刻で、寺院やお堂等に安置されている木像です。

時代の古いものとしては、「重柳大日堂の木造大日如来坐像」があり、平安時代のものとされています。

長徳寺観音堂の「木造聖観世音菩薩立像」(一日市場)は鎌倉～南北朝時代に制作されたもので、中世から続いた観音信仰の面影を伝えています。「専念寺の銅造釈迦誕生仏」(真々部)は、同寺に室町時代から伝わる誕生仏で、誕生仏としては南安曇地方では最古級かつ欠損がない点で評価されています。



図3.8 泉福寺の絹本十二天画像



図3.9 有明山神社神楽殿の小組格天井板絵



図3.10 北條虎吉像



図3.11 長徳寺の木造聖観世音菩薩立像



図3.12 専念寺の銅造釈迦誕生仏

これ以降の時代の彫刻は、「大同神社の木造隨身半跏像」（下鳥羽）や「下堀扇町諏訪神社 神鏡」があり、これらは明治時代に松本、安曇野等の社寺、舞台等の装飾彫刻を数多く手がけた清水虎吉の作品です。このほかには、「碌山美術館の荻原守衛（碌山）の全作品」（一部絵画も含む）（穂高町）があります。なお、荻原の「女」（石膏原型）は同じく国の重要文化財ですが、東京国立近代美術館に収蔵されています。



図3.13 大同神社の木造隨身半跏像

(Ⅲ)工芸品

市指定の「穂高神社の鷲足膳」（穂高）があり、元亀4年（1573）の作で穂高神社の神宝であり、神事には、神饌を供する什器として使用されています。



図3.14 穂高神社の鷲足膳

(Ⅳ)書跡・典籍

4件すべてが市指定です。

「旧高家小学校跡の西田幾多郎碑」（下飯田）は哲学者西田幾多郎による揮毫の碑で、昭和10年代の信州教育の風土を語る上で欠かせない資料です。

(Ⅴ)古文書

7件全てが市指定です。

「三宮穂高社御造宮定日記」（穂高）は文明15年（1483）から天正13年（1585）の穂高神社の遷宮の歴史を知る史料です。

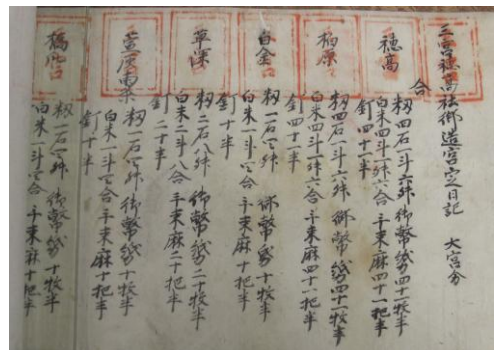


図3.15 三宮穂高社御造宮定日記

「等々力家の古文書」（上堀）は中世から近世にわたる在郷武士に関する資料、「泉福寺の紙本武田信玄禁制札」郷）は武田信玄と当市域との関係を伝え残す史料です。また、「住吉神社の古文書」（楡）は三郷地域最古の文書です。

(Ⅵ)考古資料

県指定の「信州の特色ある縄文土器」（新屋）1件があります。県内出土の縄文土器の大半は、北陸・関東・東北地方等の影響を受けつつも独自に発達したきわめて特徴的な文様の土器で、とりわけ、縄文時代中期の土器は華美で、特異な造形が特徴的です。全県下で158点が指定されており、これらのうち市内のものは、「広耳把手付土器」、「蛇体把手付ワイングラス形土器」、「両耳付壺形土器」の3点が指定されています。

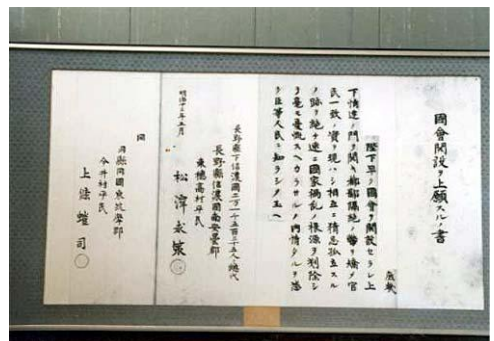


図3.16 松澤求策関係文書

(Ⅶ)歴史資料

4件が市指定で、明治時代に私塾「研成義塾」を設立し、34年間にわたって「よき人になれ」と独自の高等小学教育を実践した井口喜源治に関わる諸史料や、自由民権運動を展開した松澤求策の業績に関わる諸史料が代表例です。

3) 石造物

道祖神4件、石碑1件、これらのほかに宝篋印塔3件、庚申塔1件、「穂高神社の神橋」、「穂高神社の手洗石と手水舎」があり、いずれも市指定されています。

市内には多くの道祖神がありますが、これまでに、文化財指定されたものは、当市の地域性を色濃く出している4件です。「菊花紋道祖神」（本村）は天保10年代から嘉永年間にかけて南安曇地方で集中的に造立された凛とした気品と美術的な格調の高さを特徴とする像容形式の双体道祖神です。「本村の神代文字碑」は、元来、本村庄屋丸山家の屋敷神として設置されたもので、平田国学の影響を顕著に表した「塞神塔」であり、神代文字を用いたものとして我が国でも数少ない貴重な作例です。

「池桜の石造接吻道祖神」（潮沢）は江戸時代中期以降にみられる抱擁、交合像の中でも接吻の造形をした珍しい像です。「新屋公民館前の大黒天と道祖神及び石造群」（新屋）も古さでは当市2番目となる宝暦9年（1759）の道祖神として伝え残されています。

石碑では、地域の近代教育と自由民権運動を推進した先覚者藤森桂谷の業績を伝える「新田公民館前の藤森桂谷頌徳碑」（新田）が指定されています。

「宝篋印塔」は、宝篋印陀羅尼經を納める塔で、旧安楽寺跡（岩原）の1基、宗林寺（明科光）の2基、光久寺（大足）の1基が指定されています。

「小泉の梵字庚申塔」（南陸郷）は、明科地域の年代の明らかな石仏の中では最古のものであり、江戸時代の庚申信仰の姿を知る上で大切な文化財です。

②民俗文化財

1) 有形の民俗文化財

13件あり、いずれも市指定です。

これらのうち2件は石仏群です。熊倉の渡しに直面した仏法寺参道両脇に百二十余の観音像等がたたずむ「旧仏法寺の石造百体観音」（熊倉）、三十四番観音が2揃い並び願主名が刻印されている「下押野青柳庵の石仏群」が指定されています。

これら以外の11件のうち8件は社寺に奉納された江戸～明治時代の絵馬です。「満願寺の絵馬」（牧）5点、「穂高神社の絵馬」（穂高）64点のほか、「新屋諏訪神社の絵馬」（新屋）5点、「平福寺の絵馬・唐絵・仏画」（上長尾）3点、「中萱熊野神社の絵馬」8点等、



図3.17 菊花紋道祖神



図3.18 池桜の石造接吻道祖神



図3.19 旧安楽寺跡の石造宝篋印塔



図3.20 旧仏法寺の石造百体観音



図3.21 新屋諏訪神社の絵馬

武者絵や故事にちなんだ、極彩色の絵馬が多く残されており、当時の人々の願いや文化がうかがえる貴重な資料です。

そのほかの3件は、「新屋諏訪神社の拝殿修復寄附者名板」、「新屋諏訪神社の奉額句集」、「平福寺の俳句懸額」（上長尾）で、当時の地域住民の思いや文化的気風を伝える貴重な資料として受け継がれています。

2) 無形の民俗文化財

県指定の「穂高神社の御船祭りの習俗」は、9月26・27日に行われる例大祭の折にはオフネの曳行があり、地域の伝統行事として定着しています。「三郷の道祖神祭り」（「北小倉の御柱」、「上長尾の道祖神祭り」、「楡・住吉の道祖神祭り」）は、道祖神仲間と呼ぶ子ども組が中心となって盆・正月に道祖神祭りが行なわれています。従来からの風習が残り、他地域にはない特徴がみられます。

無形の民俗文化財の市指定は合計で13件を数え、その内訳は市内のお船祭り6件（穂高神社を除く）、「穂高神社式年遷座祭」、「穂高神社のお奉射神事」、豊科の「福俵」2件（成相・新田）、「獅子舞」2件（上長尾、田沢神明宮）、「祭りばやし」1件（野沢）があります。

また、市内各所で行われているお船祭りは「安曇平のお船祭り」として国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択されています。

③記念物

1) 遺跡

18件（県指定1件、市指定17件）あります。

県指定の「多田加助宅跡」（中萱）は、貞享義民騒動を率いた多田加助の住宅跡です。

市指定17件のうち13件は中世の城館跡・城跡で、ほかには古墳群1件、遺跡1件、学校跡2件が指定されています。中世の城館跡等を地域別にみると、豊科地域で9件と多く、「真々部氏館跡」（真々部）、「鳥羽館跡」

（上鳥羽）、「法蔵寺館跡」（新田）、「飯田砦跡」（飯田）、「吉野町館跡」、「吉野の堀屋敷跡」（吉野）

等の有力な在地領主の館跡並びに、「上ノ山城跡」（田沢）、「光城跡」（豊科光）等の山城が指定されています。三郷地域で「小倉城址」（北小倉）、「長尾城址」（上長尾）の2件、穂高地域で「小岩嶽城跡」1件、明科地域で「塔ノ原城跡」（町）1件の指定があります。中世城館等の跡は有力者の勢力分布や地域支配の歴史を通じて、地域の成り立ちを今に伝える貴重な史跡です。

このほかに、縄文時代の配石遺構を始め貴重な出土品が大量に確認された穂高地域牧の「離山遺跡」、穂高地域西部の山麓に80基ある「穂高古墳群」、明治時代以降の日本の近代化の中で様々な功績を挙げた人材を育てた学校跡の私塾「研成義塾跡」及び「研成義塾創設の地跡」（矢原）があげられます。



図3.22 北小倉の御柱



図3.23 鳥羽館跡

2) 名勝地

県指定が1件あります。「山口家庭園」（岩原）は江戸時代に長尾組を統括した大庄屋山口家の庭園として350年あまり経つもので、滝、石組は桃山時代の手法で配石の妙を伝え、元禄初年に建てられた書院建築の主屋と共に現在に至るまでよく保存されています。



図3.24 山口家庭園

3) 動物・植物・地質鉱物

市内で41件（国指定4件、県指定11件、市指定26件）あります。

国指定のうち、「中房温泉の膠状珪酸および珪華」は中房温泉源泉周辺にみられる温泉由来の堆積物です。膠状珪酸は多様な好熱性の原核生物の集合体であるバイオマットとそれに吸着する含水珪酸からなるゼリー状の物質を指します。バイオマトの微生物相は、約20億年におよぶ生命の初期進化の過程をほぼ網羅するほどの多様さを持ち、現在も微生物の活性が高い状態にあり、世界的に見ても稀有なものです。珪華は、温泉水に含まれる珪酸成分が沈殿したものを指しますが、流下する場所に形成され、層状の厚みを持つものと、温泉水を伴わず噴気がある場所に形成される薄い皮膜状のものとの二通りがあります。膠状珪酸や珪華は現在も形成され続けているほか、周辺に独特な環境を作りだしています。



図3.25 中房温泉の膠状珪酸および珪華

国の特別天然記念物として、日本アルプス等の高山帯に生息するライチョウ(長野県の県鳥)や日本特産種で長野県の県獣であるカモシカ、国の天然記念物として日本特産種であるヤマネがそれぞれ指定されています。

県の天然記念物は、高山蝶9種類とホンシュウモモンガ、ホンドオコジョの合計11種類あげられます。

市指定は全部で26件を数えます。種別の内訳は、植物24件、地質鉱物1件、動物1件です。植物のうち、「田沢神明宮社叢」（小瀬幅）、「住吉神社の社叢」（楡）では社叢林が指定されています。これら以外のものは、地域の暮らしに結びつきの深い樹木の大木、当該種としては大きく生育した樹木等が指定されています。



図3.26 田沢神明宮社叢

動物では、当市の自然や生態系の象徴の一つである「安曇野のオオルリシジミ」が、地質鉱物では新第3紀層の泥岩に含まれる礫として、フォッサマグナ中で最大のものである「田沢山の巨大礫」（新田）がそれぞれ指定されています。なお、大口沢で発見されたアシカ科の化石は、県の天然記念物に指定されていますが、現在は長野市の化石博物館に収蔵されています。



図3.27 オオルリシジミ

3.2 未指定文化財

(1) 未指定文化財の概要

これまでの調査報告書等の文献を通じて把握された当市の未指定文化財の数は、令和7年(2025)8月現在で19,703件となっています。

これらの把握にあたり、これまで当市が進めてきた調査の成果や関連する調査の記録や文献、そして博物館等の収蔵品の点数の把握のほか、文化財調査委員による補完的な調査を行いました。これらの調査を通じて把握された種別の未指定文化財の数を表3.7に示します。

表3.7 当市内の未指定文化財数 (件)

| 類型 | | | 合計 |
|------------|------------|--------|-------|
| 有形文化財 | 建造物 | | 373 |
| | 美術工芸品 | 絵画 | 359 |
| | | 彫刻 | 365 |
| | | 工芸品 | 21 |
| | | 書跡・典籍 | 10 |
| | | 古文書 | 20 |
| | | 考古資料 | 4,263 |
| | | 歴史資料 | 198 |
| | 石造物 | | 6,472 |
| 無形文化財 | | 0 | |
| 民俗文化財 | 有形の民俗文化財 | 6,482 | |
| | 無形の民俗文化財 | 82 | |
| 記念物 | 遺跡 | 465 | |
| | 名勝地 | 2 | |
| | 動物・植物・地質鉱物 | 262 | |
| 文化的景観 | | 49 | |
| 伝統的建造物群 | | 5 | |
| その他（伝承・民話） | | 275 | |
| 合計 | | 19,703 | |

(令和7年(2025)8月現在)

注1) 上表は本計画の策定に当たり実施した調査、既往文献等からの調査の2つの調査からの結果を集計したものです。なお、既往文献等に関しては調査の主体や時期が異なるため、重複や減失が発生している可能性があります。

注2) 基本的には件数を示していますが、一部点数により集計されているものがあります。今後精査していく中で、件数として再集計していきます。

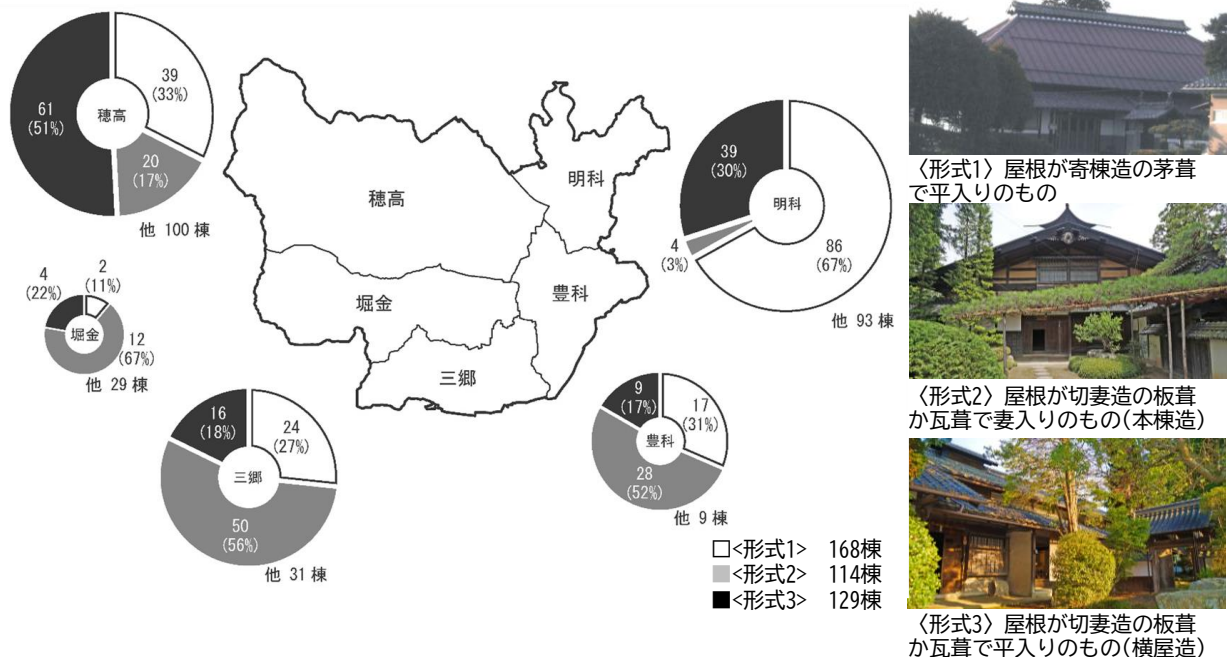
(2) 未指定文化財の特徴

①有形文化財

1) 建造物

建造物は、合計で373件が把握されています。民家、社寺建築、その他の工作物に分かれます。

民家に関しては、平成24～26年(2012～2014)に市の委託で長野県建築士会安曇野支部により、市内全域で伝統的な建築形態を維持している民家の確認が行われ、このうち建築士の視点で注目すべき民家が137件抽出されています。また、当時の資料をもとに農家の主屋を抽出して屋根葺き材と入口の向きに着目して、三つの形式に分類して地域差を把握したところ、五つの地域で差がみられ(次ページ参照)、茅葺の民家と板葺の民家が混在する民家の多様性を示す特徴が確認されました。豊科の飯田集落(飯田)は、この三つの形式の民家が良く残り、安曇野における代表的な農村集落の景観を今に伝えている地区の一つです。



(出典：安曇野市の文化財第2集 安曇野の民家 令和2年3月 安曇野市教育委員会)

図3.28 当市の各地域における農家の民家の形式（1～3）の割合

社寺建築は189件把握されており、これらの中には穂高神社の式年遷宮時に払い下げを受けた材を用いた社殿がみられます。

そのほかの工作物としては、急峻な地形から流れ出る水を活かし明治時代から続く宮城第一発電所や、扇状地の扇央部の不利な利水条件に導水するために整備された堰とよばれる農業用水路、生活用水を確保するために川の水を集落で取り入れる際にろ過するための漉し井戸等が把握されています。

2) 美術工芸品

未指定の美術工芸品は、合計で5,236件把握されています。

絵画、彫刻、工芸品、書跡・典籍は、狩野派の流れを汲む本市出身の画家の絵画、江戸時代後期の文人画家である藤森桂谷らの作品、荻原守衛（碌山）の絶作「女」をブロンズ化した鍔金家の山本安曇の作品、文化勲章受章者の漆芸家で本市出身の高橋節郎の作品等、近世から現代に至る本市出身あるいは本市にゆかりある人物の作品が確認されています。また、江戸時代中期に中信地域に多くの仏像作品を残した木食山居作の仏像や、牛流山真龍院の薬師三尊像、満願寺の牡鹿の松（掛軸）等寺院に保存されている仏像類の彫刻や絵画も把握されています。

古文書は、近世の名主家や神社、区で所有されている文書が把握されています。

考古資料は、他谷遺跡の縄文中期の土偶、7世紀後半の創建とされ、信濃国でも最も古い寺院の一つの跡とされる明科廃寺からの出土品の瓦等、埋蔵文化財の発掘調査での出土品が多数把握されています。

歴史資料は、本市にゆかりのある人物たちの足跡に関する顕彰資料や写真、映像資料等が把握されています。

3) 石造物

石造物は全市的に数が多く、道祖神や社寺の灯籠、石碑等様々な石造物が6,472件確認されています。中でも、木戸（キド）（※）ごとの守り神等として設置された道祖神は600件を超え、当市を特徴づける文化財として広く知られています。

（※：木戸（キド）とは…日常的に親密な付き合いが行われる近隣集団）

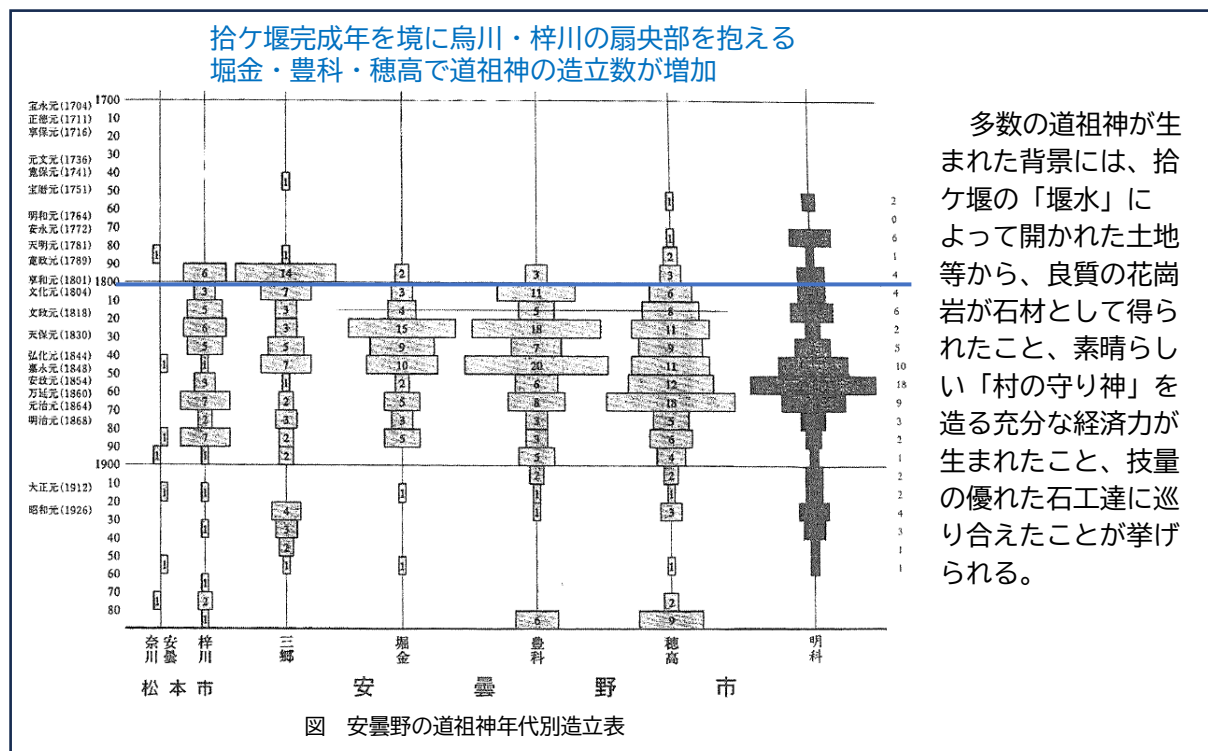


図3.29 拾ヶ堰の開削と道祖神造立年代からみえること

（安曇野の水 用水堰の発達と石仏のかかわり 一拾ヶ堰と道祖神碑の造立傾向一 石田益雄
2012年7月14日 第7回川の自然と文化の講演会 記録資料より 抜粋）

②民俗文化財

1) 有形の民俗文化財

有形の民俗文化財は、衣食住、生業、信仰、年中行事等に関連する民具を中心に、6,482件把握されています。特に、明治時代以降の近代化に伴い発展した養蚕業では、冷涼な気候、乾燥した内陸の環境を利用した蚕種の生産が三郷地域を中心に盛んに行われ、その生産に関する用具や風穴等の保存の場は、当市特有のものといえます。

2) 無形の民俗文化財

未指定の無形の民俗文化財は合計で82件把握されています。

市内では複数の祭りが無形の民俗文化財として指定されていますが、これに類するものとして未指定のお船祭りが14件、道祖神祭りが15件把握されています。ほかにも集落や木戸（キド）等の小さい単位で行われている祭りが把握されています。

これらのほか、水もちの良くない農地を克服するために明治時代以降に発展した稲作以外の生産、産業の発展につながった天蚕・養蚕の飼育や加工技術、清冽な地下水を活かしたわさびやマスの栽培・養殖技術等、様々な農産物の生産技術が把握されています。養蚕に関しては現金の収入源となることから豊作を祈願する祭り等も行われており、その名残を伝える祭りも把握されています。

③記念物

1) 遺跡

未指定の遺跡は、合計で477件把握されています。これらの大部分は埋蔵文化財包蔵地の465件で、そのほかには学校跡、古くから利用されてきた道筋、水運や川の渡し場の跡地等が把握されています。埋蔵文化財包蔵地の半数は遺物散布地で、そのほかには城館跡の埋蔵文化財包蔵地が86件、社寺跡が25件、市の史跡として指定のある穂高地域以外の古墳の20件等が把握されています。東西の山麓部や扇状地の中でも比較的居住条件の良い場所に遺物散布地や城館跡があり、東西の小高い山には岩原城等の山城がみられ、地形条件に応じた土地利用の歴史が刻み込まれています。

2) 名勝地

未指定の名勝地では、2件の庭園が把握されています。規模も大きく、屋敷林と一体になった緑豊かな庭園です。

3) 動物・植物・地質鉱物

未指定の動物・植物・地質鉱物は、合計で262件把握されています。

未指定文化財として動物の個別の種類をとりあげた把握例はありませんが、多様な生物を育む重要な自然環境(『安曇野市版レッドデータブック』より)として、燕岳とその周辺、有明山、中房温泉周辺、信濃坂、満願寺周辺、穂高神社等が把握されています。植物では、市内の集落内の墓地や川沿い等に多いサクラが206件把握されています。地質鉱物では、当市の環境を大きく規定している複合扇状地や湧水、滝等が把握されています。

④文化的景観

選定されていない文化的景観は、合計で49件把握されています。これらは屋敷林を有する大きな民家が一定のまとまりとしてみられる集落や当市の風土を反映した生産活動を伝える環境です。

前者は屋敷林の歴史的・文化的な価値に着目した市民主体のプロジェクトとして2013～2014年に把握された集落45件です。屋敷林所有者等から屋敷林の維持管理や将来の課題等も聞き取り、周辺の歴史や文化も探り、プロジェクト独自の視点で実態と価値を整理しています。後者では、砂づくり・石造りのわさび畑、専用の排水路と養鱒場が続く景観、ぬるめ・ため^(※)のある水田の景観、長峰山の採草地の景観、川窪沢川沿いの圃場整備以前の形状の残る棚田の景観が把握されています。

(※) ぬるめ・ため…山間部からの冷たい用水を稲作に適した水温に上げるために溜めた水田入口部の水溜めの池もしくは日光に当たる距離を長く確保した堰

⑤伝統的建造物群

選定されていない伝統的建造物群は、5件把握されています。農村集落が4件、宿場町が1件です。

⑥その他

魏石鬼岩窟と八面大王、常念坊、室山のデーラボッチャ等の民話や伝説が275件把握されています。

3.3 関連する制度等

(1) 世界かんがい施設遺産

世界かんがい施設遺産は、かんがいの歴史・発展を明らかにし、理解醸成を図るとともに、かんがい施設の適切な保全に資するために、歴史的なかんがい施設を国際かんがい排水委員会が認定・登録する制度であり、平成26年度に創設されました。「拾ヶ堰」は、平成28年(2016)に登録されています。

(2) 自然公園

当市の西部の最上流の高山帯・亜高山帯および山地帯の一部の区域は「中部山岳国立公園」の区域に指定されています。公園内は特別保護区、特別地域、普通地域等の地区に分かれ、地区によって開発の行為や野生生物の採取、捕獲等に一定の制限が課せられています。

(3) 長野県郷土環境保全地域

長野県郷土環境保全地域は、長野県自然環境保全条例に基づき「周辺の生活環境を含む自然的社会的諸条件からみて、その区域における自然環境を保全することが特に必要な地域」として指定され、県内で36地域定められています。当市では「満願寺」を含む3.42haが指定されています。

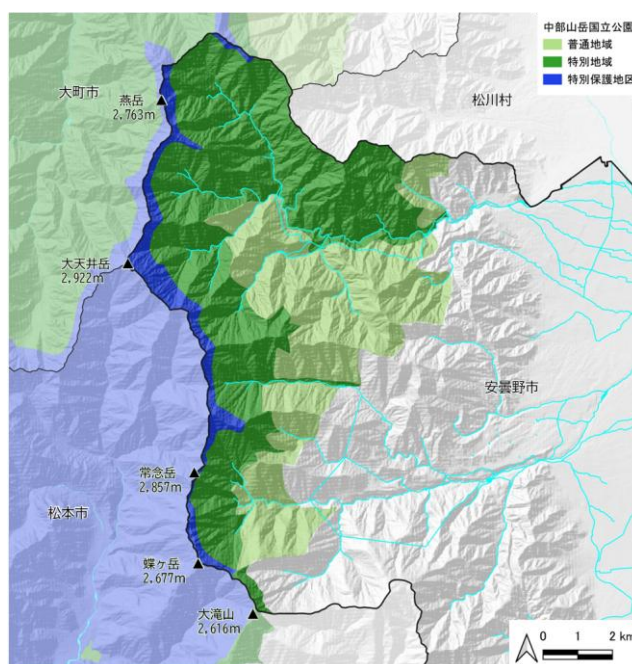


図3.30 自然公園の指定状況

(4) 重要里地里山・重要湿地

環境省は「生物多様性国家戦略」（平成24年度）に基づき、様々な命を育む豊かな里地里山等を、次世代に残していくべき自然環境の一つであると位置づけ、平成25年（2013）に「日本の重要湿地」、平成27年（2015）には「生物多様性保全上重要な里地里山（略称「重要里地里山」）」（500か所）を選定しています。

当市では重要湿地に「安曇野蓼川周辺湧水河川」、重要里地里山として「長峰山」一帯が指定されています。蓼川周辺の湧水河川はバイカモ、ミクリ類、陸上植物の沈水形が群生する湧水性植生の典型として、長峰山一帯は山頂等に残されているススキ草原の維持管理による植生を始め、手入れの行き届いた広葉樹林等を含む良好な里山生態系が保たれている点が選定の理由です。

(5) 名水百選

「安曇野わさび田湧水群」は環境省の名水百選に選定（昭和60年（1985））されています。特色として、北アルプスの雪解け水である当市の伏流水は豊富な水量を保ち、古くから新田の開墾や用水・堰の開削に利用されてきた点、明治時代からはわさびの栽培に用いられ、その排水はニジマス養殖に使う等、水を循環利用してきた点が挙げられています。